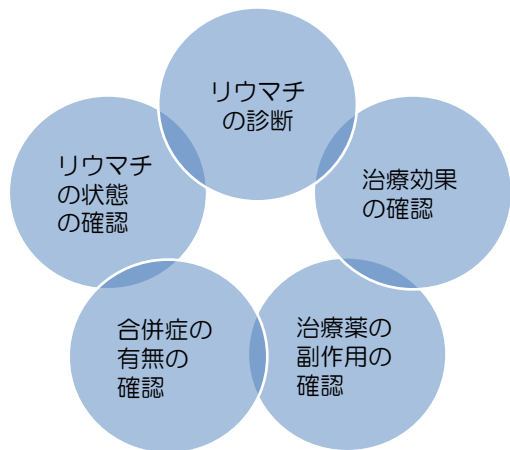


リウマチの検査のみかた

リウマチの状態/治療効果判定のための検査項目

関節リウマチの検査の目的



リウマトイド因子（RF）

所要時間：60分

基準値：15 IU/mL以下

免疫グロブリンに対する自己抗体

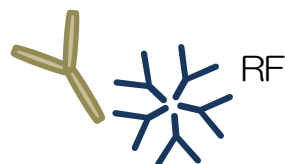
関節リウマチの75%で陽性となる

関節リウマチの診断に使われる

リウマチ活動期には高値、症状が改善すると低値となる

膠原病・肝硬変・慢性肝炎などの他の疾患や、健常者でも陽性となることがある

免疫グロブリン（IgG）



血液・尿検査の目的は、病気の診断、活動性や治療効果の判定、お薬の副作用・合併症の確認です
症状、他の検査項目、画像検査などを組み合わせて総合的に判断します

リウマチの診断のための検査項目

抗CCP抗体

所要時間：60分

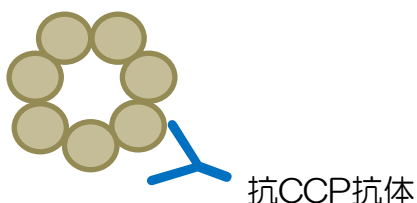
（抗環状シトルリン化ペプチド抗体）

基準値：4.4 U/mL以下

体の中でシトルリン化された蛋白に結合する自己抗体

関節リウマチの80%以上で陽性となり、他の疾患では陽性となることはほぼない
関節リウマチの早期診断に有用で、発症前から陽性になる

シトルリン化ペプチド



MMP-3

所要時間：60分

（マトリックスメタロプロテアーゼ-3）

基準値：男性：36.9-121.0 ng/mL

女性：17.3-59.7 ng/mL

関節の滑膜にある細胞から作られる酵素

主に軟骨の破壊に関与する

リウマチ診断の補助的役割

関節リウマチの活動性を反映するため、治療が効いているかどうかの判断にも使われる
他の疾患でも高値となることがある



CRP (C反応性蛋白) 所要時間：40分

基準値：0.18 mg/dL以下

肝臓で産生される蛋白質

炎症の強さや組織破壊の程度を敏感に反映する

治療効果の判定などに用いられる

血沈（赤血球沈降速度） 所要時間：60分

基準値：男性/1-10mm/ 1 時間

女性/2-15mm/ 1 時間

赤血球の沈む速度をみる検査

炎症の強さや活動性の指標となる

注意！
感染症などの他の炎症性
疾患でも上昇する



合併症/副作用に関する検査項目

○血液成分の検査 所要時間：20分

赤血球

基準値：男性：400～552万/ μ L

女性：378～499万/ μ L

酸素と結びつく性質を持つヘモグロビンを多く含み、肺から得た酸素を体の隅々の細胞まで届ける役割などを持つ

腎臓から産生されるホルモンによって骨髓で作られる

少ない状態を貧血という



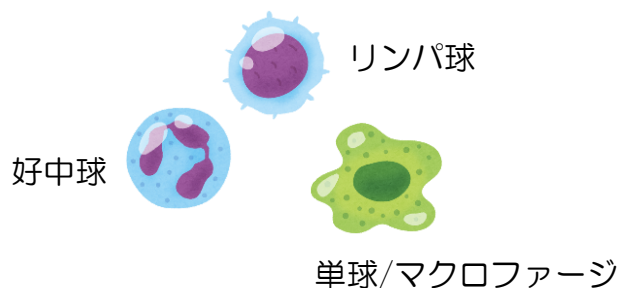
白血球

基準値：3,040-9,640/ μ L

ウイルスや細菌から身体を守るための役割を担う

多くの種類の細胞が存在し、抗体を産生したり、細菌などを捕食したりする

骨髓で産生される



血小板

基準値：14.8-36.1万/ μ L

ケガなどにより出血した時、たくさん集まり血を止めるためのいわば“糊”のような役割

肝臓から産生されるホルモンによって骨髓で作られる



MCV（平均赤血球容積）

基準値：85-102.5 fL

赤血球1個の平均の大きさ

80fL未満を小球性、範囲内を正球性、100fL以上を大球性と呼ぶ

	鉄不足による 貧血	慢性炎症による 貧血	MTXによる 貧血
MCV	↓	↓	↑
赤血球	↓	↓	↓

★組み合わせで疾患を推定します

★さらに他の検査を組み合わせで鑑別します

○肝機能の検査

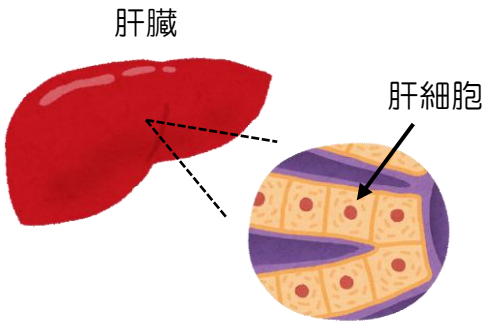
所要時間：40分

AST

基準値：13-33 U/L
あらゆる臓器に広く分布する酵素
（肝臓、心臓、筋肉）

ALT

基準値：男性8-42 U/L
女性6-27 U/L
主に肝臓に多く含まれる酵素
細胞が壊れると上昇する（逸脱酵素）

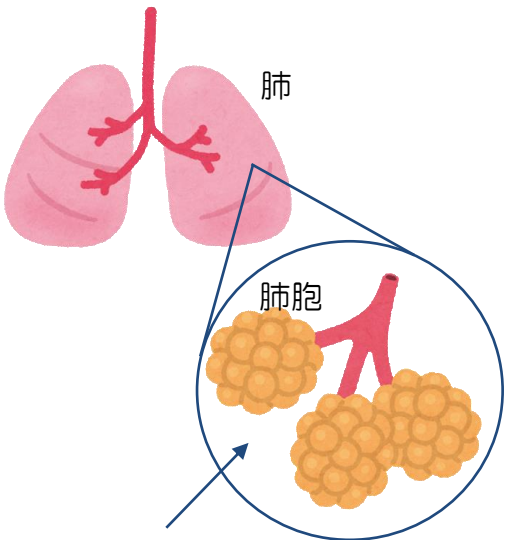


○間質性肺炎の検査

所要時間：40分

KL-6

基準値：500 U/L以下
リウマチ患者さんに発症することがある間質性肺炎に対する、とても優れたマーカーの1つ



間質性肺炎とは、肺胞と肺胞の間の間質と呼ばれる部分に炎症が起こる病気

○胆道系の検査

所要時間：40分

ビリルビン

基準値：0.2-1.0 mg/dL
赤血球中のヘモグロビンの一部が代謝されてできる黄色い色素
肝臓や胆管の異常で上昇し“黄疸”の症状となる

ALP（アルカリホスファターゼ）

基準値：115-359 U/L
ほとんど全ての組織の細胞に含まれる酵素
特に、肝臓・骨・小腸・胎盤に多い

γ-GTP（ガンマ-GTP）

基準値：男性11-58 U/L
女性 6-46 U/L
主に腎、脾臓に含まれる
アルコール性肝疾患やお薬による肝障害で上昇する
健康でもお酒を飲んだだけで上昇する

	肝障害	骨破壊
ビリルビン	↑	→
ALP	↑	↑
γ-GTP	↑	→

★組み合わせて疾患を推定します

Cr（クレアチニン）

基準値：男性 0.61-1.04 mg/dL
女性 0.47-0.79 mg/dL
筋肉で生成され、血液から腎臓、尿中へと排出される
腎障害などで上昇する

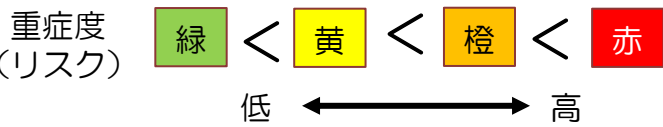
eGFR（推算糸球体濾過量）

基準値：90 ml/分/1.73m²以上
尿は腎臓の糸球体で血液を濾過して作られる
この濾過量をGFRと言う
腎機能の悪化を反映して低下する
推算式：
男性 = 194 × [年齢]^{-0.287} × [Cr]^{-1.094}
女性 = 男性eGFR × 0.739

慢性腎臓病（CKD）リスク分類表
透析導入（末期腎不全）、心血管イベント、死亡に対するリスクを示す

		尿蛋白量		
		正常	軽度 蛋白尿	高度 蛋白尿
GFR (mL/分/1.73m ²)	≥90	正常	生活指導	※
	60～89			
	45～59	生活指導	※	腎臓内科医に紹介/ 原因精査
	30～44	※		
	15～29			
	<15			

※場合によっては腎臓内科紹介



尿糖

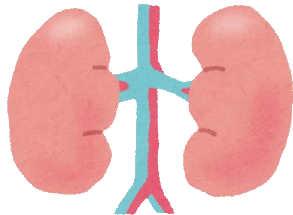
基準値：陰性
腎臓で尿を作る過程では、糖（ブドウ糖）は通常水分とともに体内に再吸収されるが、血糖がある一定の値（閾値；170mg/dL程度）を越えると、尿中に糖が排泄される

尿蛋白

基準値：陰性
腎臓に何らかの障害があり、濾過機能が低下すると血中の蛋白質が尿に漏れ出てくる
ごく軽度の蛋白尿（±、1+）はストレスや激しい運動、脱水などでも認められる

尿潜血

基準値：陰性
尿中に赤血球が混入した場合、陽性となる
陽性の場合、腎臓や尿管、膀胱、尿道などにおける外傷、結石、感染症や悪性腫瘍などが疑われる
激しい運動や月経等でも陽性となる



腎臓には血液中の老廃物を濾し出す役割がある